

報道関係各位

2015年7月8日

米国新規不動産開発事業に初出資、米国不動産投資を本格化 NFL オーナー系企業と合併でワシントン D.C.都市圏の 21 階建て マンション開発に 3550 万ドルの投資を決定しました

大東建託株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：熊切直美）は、好調の米国不動産市場への進出を加速させていく予定です。首都ワシントン D. C. 郊外の地下鉄ターミナル駅直結の大型不動産施設に 3550 万ドル（約 44 億円）を出資し、NFL レッドスキングスのオーナー系企業・Comstock Partners, LC（以下、コムストック社 <http://www.comstockpartnerslc.com/>）とともに事業を進めてまいりますのでお知らせ致します。

■ 開発物件および出資の概要

シンガポールの子会社・Daito Asia Investment PTE LTD は、新設する事業会社の資本金に対等の 50% を出資し、このほど JV 契約を締結しました。開発プロジェクト「BLVD|Reston Station」は、集合住宅棟（21 階建て住居数 448 戸 商業部分 772 m²）で、投資総額は 1 億 6600 万ドル（約 206 億円）、来年 4 月の完成を見込んでいます。

「Reston Station」は、ワシントン D. C. 中心部から北西に約 30km と近く、昨年開業したばかりの「ウィールレストン駅」直結の好立地です。バスターミナルや駐車場が併せて整備され、車を降りてメトロで都心へ向かう「パーク アンド ライド」の都市住民の通勤スタイルにマッチし、このメトロ新線シルバーラインは将来ダレス空港まで伸びる予定です。

本件は、フェアファックス郡とコムストック社の官民共同で開発が進められている複合不動産開発プロジェクト「Reston Station」の一部を構成しています。「Reston Station」は総面積 50,000 m² を超える敷地に、オフィス・集合住宅・ホテル・商業施設等が計画されており、全施設の開発が完了するのは 2021 年頃を見込んでいます。

■ 当案件参画の目的

当社グループは、堅調な国内賃貸住宅市場に注力しつつ、蓄積したノウハウの展開を海外も含め検討しており、米国においては、2013 年 11 月に不動産ファンドへの出資を開始しています。今回は、コムストック社という地域を熟知したパートナーを得、新規不動産開発の分野への進出を開始致しました。

米国は安定した経済成長が見込まれる上に透明性の高い不動産マーケットが整備されているため、海外不動産投資対象国として有力な投資先と位置づけており、今後も積極的に不動産投資を行っていく予定です。

（次のページへ続く）

■ 「BLVD|Reston Station」 概要

- ・ 名称 : BLVD|Reston Station
- ・ 所在地 : ヴァージニア州フェアファックス郡レストン レストンメトロプラザ 1908
- ・ 総戸数 : 448 戸
- ・ 敷地面積 : 6,272 m²
- ・ 延床面積 : 46,992 m²

■ 「コムストック社」 概要

- ・ 設立 : 2006 年 6 月 ・ 所在地 : ヴァージニア州レストン
- ・ 代表 : クリストファー・クレメンテ (Christopher D. Clemente)
- ・ 主な出資者 : シャー ホールディングス (代表クリストファー・クレメンテ氏の義父ドワイト・シャー氏の系列会社) 50%
 ※ドワイト・シャー氏 : 不動産開発事業分野に 45 年以上の経験を有し、NFL ワシントンレッドスキンの共同オーナー。



以上

<この件に関するお問い合わせ>
 大東建託株式会社・経営企画室
 和賀・西
 TEL (03)6718-9174